

令和3年度 三河小中学校長会役員・理事会・郡市代表者会

令和3年11月9日（火）

13：30～ 蒲郡荘

1 あいさつ

2 本日の日程

○各種関係団体説明・依頼	13：30～13：45	2階 大島
○役員・理事会・郡市代表者会	13：45～14：45	〃
＜ 休憩 及び 配置換え ＞	14：45～15：00	〃
○校長研修会	15：00～16：30	〃
※愛知教育文化振興会より	16：30～16：50	〃

3 関係団体連絡（県校長会・三河教育研究会・県校長会事務局）

4 協議事項

- (1) 令和4年度三河小中学校長会諸会合（二次案）について
- (2) 令和4年度関係団体総会・大会等予定について
- (3) 令和4年度年間行事予定について
- (4) 各専門委員会・部会の当面する課題について
 - ①法 制
 - ②教育条件
 - ③学校経営
 - ④進 路
 - ⑤保健体育
 - ⑥福祉安全
 - ⑦給 食
 - ⑧生徒指導
 - ⑨特別支援教育
 - ⑩修学旅行特別
 - ⑪教育課題特別
- (5) その他

5 連絡依頼事項

(1) 各専門委員会の報告について ※別紙

- | | |
|---------|---------|
| ①法制 | ②教育条件 |
| ③学校経営 | ④進路 |
| ⑤保健体育 | ⑥福祉安全 |
| ⑦給食 | ⑧生徒指導 |
| ⑨特別支援教育 | ⑩修学旅行特別 |
| ⑪教育課題特別 | |

(2) 愛知県学校事務職員組合からの要請書について

(3) 三河教育会館会議室の使用について

(4) 第72回全日本中学校長会研究協議会静岡大会報告について

(5) 古岡奨学会奨学生候補者の推薦について

(6) その他

【次回案内】

令和4年1月11日（火） オンライン会議

14：00 役員・理事会・常任委員会

15：30 校長研修会

講師：愛知県教育委員会義務教育課 課長 伊藤 孝明 様

三河小中学校長会
役員・理事会, 都市代表者会 座席

令和3年11月9日(火) 13:30~
蒲郡荘 2階「大島」

提案

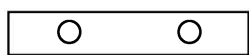


マイク

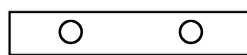
中	保	波	伊	柵	加	吉	岡
村	科	多	奈	木	藤	野	田
監	副	副	副	会	顧	顧	北顧
刈	会	豊	会	会	顧	顧	北顧
谷	査	川	長	長	問	問	設
	長	長	長	長	問	問	楽
○	○	○	○	○	○	○	○

(司会)マイク2本

崎 下 監査



伊豫田 木下智
岡崎 豊橋



上 原 岡 本
法制・安城 教育条件

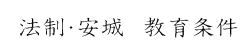


稲 生 事務局長

彦 坂 庶務



立 花 小 田
碧南 蒲郡

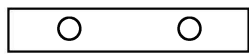


本 多 鈴 木
学校経営 進路

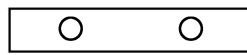


阿知波 県監査

原 田 庶務



久 野 安 藤
豊田 新城



佐 野 榊 原
保健体育 福祉安全

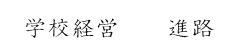


平井克 県庶務

尾 出 庶務



河 合 杉 田
西尾 田原



村 松 宮 林
給食 生徒指導



都 築 県庶務

遠 山 庶務補佐



吉 澤 山 本
みよし 幸田



三浦孝
教課特別

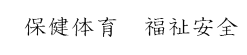


兼 子 県会計

近 藤 会計



三浦啓 加藤応
知立 高浜

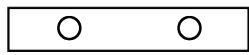


木下直 児 玉
特支教育 修旅特別

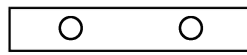


中村賢 県会計

立 川 会計



吉 澤 山 本
みよし 幸田



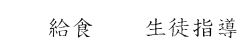
三浦孝
教課特別



都 築 会計補佐



三浦啓 加藤応
知立 高浜



木下直 児 玉
特支教育 修旅特別



【欠席者】

平井敦 副会長

下田 福祉安全

参加者 45名

長 机 25

資料台

資料台

裏面は、研修会の座席です

三河小中学校長会
研修会 座席

令和3年11月9日(火) 15:00～
蒲郡荘 2階「大島」

演 題

進行

マイク

(いす)

(机)マイク 会



1

○	○	○	○
波多野	伊 奈	伊豫田	木下智
副会長	副会長	岡崎	豊橋

○	○	○	○
上 原	岡 本	柵 木	加 藤
法制・安城	教育条件	会長	顧問

2

○	○	○	○
中 村	保 科	立 花	小 田
監査	副会長	碧南	蒲郡

○	○	○	○
本 多	鈴 木	吉 野	岡 田
学校経営	進路	顧問	顧問

3

○	○	○	○
彦 坂	崎 下	久 野	安 藤
庶務	監査	豊田	新城

○	○	○	○
佐 野	榊 原	稲 生	阿知波
保健体育	福祉安全	事務局長	県監査

4

○	○	○	○
尾 出	原 田	河 合	杉 田
庶務	庶務	西尾	田原

○	○	○	○
村 松	宮 林	平井克	都 築
給食	生徒指導	県庶務	県庶務

5

○	○	○	○
遠 山	近 藤	三浦啓	加藤応
庶務補佐	会計	知立	高浜

○	○	○	○
木下直	児 玉	兼 子	中村賢
特支教育	修旅特別	県会計	県会計

6

○	○	○	○
都 築	立 川	吉 澤	山 本
会計補佐	会計	みよし	幸田

○	○	○
三浦孝	学校力向上	学校力向上
教課特別		

【欠席者】

平井敦 副会長
下田 福祉安全

資料台

資料台

参加者48名(講師含む)
長 机 27

令和3年11月9日

三河小中学校長会役員・理事会、郡市代表者会

柵木 智幸

1 はじめに

2 令和3年度三河小中学校長会の活動について

(1) 専門委員会・特別委員会

○各委員長を中心に計画に沿った活動推進

(2) 学校力向上特別委員会

○「学校力を高める学校経営の在り方ーコロナ時代における働き方改革の取組と課題ー」

・調査研究：10/19 三重県松阪市立鎌田中学校視察

10/25 名古屋市立矢田小学校視察

12/27 京都市立葵小学校視察（予定）

(3) 当面の課題について

① 新型コロナウイルス感染症第6波に備えた継続的対策

② 修学旅行をはじめとする各種行事の工夫した実践及び次年度の計画

③ 愛知教育文化振興会の刊行物採択

・令和4年度版中学校刊行物の採用に向けての回覧

・令和4年度に向けてICT化にかかるアンケート

④ 若手・中堅の人材育成

○校長からの働きかけ

・愛知教育文化振興会の編集委員への推薦

・三河教育研究会夏季研修会への発表者推薦

・愛教大附属学校及び組合への推薦

3 経過報告（会議等）

期 日	内 容
10月13日	三河教育研究会常任・評議員会（愛教大附属岡崎小）
10月19日	第2回愛知教育文化振興会事務担当者会（三河教育会館）
10月21日 22日	第72回全日本中学校長会研究協議会・静岡大会（オンライン会議）
10月26日	第69回愛知県へき地・複式・小規模学校教育研究大会（名倉小・作手中）
11月2日	退職手当等に関する説明会（愛知教育会館）
11月4日	第35回東海北陸地区へき地・複式・小規模学校教育研究大会・三重大会（オンライン会議）
11月5日	三河小中学校PTA連絡協議会第2回役員会・理事会（みよし市役所）
11月7日	三河小中学校長会第2回組織検討委員会（竜美丘会館）
11月9日	三河校長会役員・理事会、郡市代表者会（蒲郡荘）

4 その他

（1）令和5年度私立高校入学者選抜にかかる日程の繰り上げについて

（2）その他

三河小中学校長会役員・理事会、郡市代表者会資料

令和3年11月9日（火）

愛知県小中学校長会事務局

1 令和4年度全国・東海北陸の各種研究大会について

- | | | |
|--------------|-----|----------------------|
| (1) 全連小島根大会 | 期 日 | 令和4年10月13日（木）・14日（金） |
| | 会 場 | 松江市（くにびきメッセ 他） |
| (2) 東陸小静岡大会 | 期 日 | 令和4年10月27日（木）・28日（金） |
| | 会 場 | 静岡市（グランシップ 他） |
| (3) 全日中北海道大会 | 期 日 | 令和4年10月20日（木）・21日（金） |
| | 会 場 | 札幌市（札幌コンベンションセンター 他） |
| (4) 東陸中三重大会 | 期 日 | 令和4年 7月 7日（木）・ 8日（金） |
| | 会 場 | 津市 （三重県総合文化センター 他） |

2 愛知県退職校長会への入会について

- 令和3年度末「退職予定」の校長先生方に、愛知県退職校長会への入会手続きを下記の予定にて進めて参ります。郡市代表の校長先生に取りまとめをお願いします。

・ 12月3日（金） 愛知県・名古屋市小中校長会代表者会で説明

・ 1月初旬 愛知県退職校長会への入会関係書類の郵送、電子データの送信

・ 1月11日（火） 三河小中学校長会役員・理事会、常任委員会で関係書類等の配付・説明

各郡市で入会の依頼・集金

・ 3月14日（月） 第3回常任委員会・評議員会の受付にて、入会金の納入

- 早期退職者がみえましたら、事務局へ連絡をお願いします。

令和4年度 三河小中学校長会諸会合（二次案）

令和3年11月9日現在

月 日（曜日）	時刻	会 合 名	会 場	備 考
4月12日（火）	11:00 13:15 15:00 15:15 15:15	仮役員・理事会 郡市代表者会・評議員会 専門委員会全体会 専門委員会 郡市会計担当者会	ライフポートとよはし (0532-33-2113) ※豊橋市で会場固定	3年度は 4/13（火）
4月22日（金）	15:30	仮役員会	岡崎市竜美丘会館 301 (0564-24-3951)	3年度は 4/20（火）
5月10日（火） ※県校長会総会 5/16（月）	12:00 14:30	総会準備会 三河校長会総会	岡崎市竜美丘会館 (0564-24-3951)	3年度は 5/11（火）
6月 7日（火）	13:30 15:00	役員・理事会、常任委員会 校長研修会	オンライン会議 ※基地局： 三河教育会館 (0564-51-4819)	3年度は 6/8（火）
※候補日 ①8月 8日（月） ②8月26日（金）	14:15 16:00 17:00	役員・理事会、評議員会 主催団体打合せ 三河教育懇談会 (知事教育講演会)	岡崎ニューグランドホ テル (0564-21-5111)	3年度は 8/3（火）
10月11日（火）	13:30 15:00	役員・理事会、郡市代表者会 校長研修会	蒲郡荘 (0533-68-2188)	3年度は 10/12（火）
11月 8日（火）	13:30 15:00	役員・理事会、郡市代表者会 校長研修会	蒲郡荘 (0533-68-2188)	3年度は 11/9（火）
1月10日（火）	14:00 15:30	役員・理事会、常任委員会 校長研修会	オンライン会議 ※基地局： 三河教育会館 (0564-51-4819)	3年度は 1/11（火）
1月31日（火）	15:00 16:00	役員・理事会、評議員会 校長研修会	岡崎ニューグランドホ テル (0564-21-5111)	3年度は 2/1（火）
2月28日（火）	15:00 16:00	役員・理事会、常任委員会 校長研修会	岡崎ニューグランドホ テル (0564-21-5111)	3年度は 2/25（金）

※前回からの変更点にはアンダーライン

令和4年度関係団体総会・大会等予定

令和3年11月9日現在

年 月 日 (曜)	会 合 名	会 場 (理事会期日)
<u>4. 4.15 (金)</u>	名古屋小中学校長会総会	
4. 5.11 (水)	尾張小中学校長会総会	
4. 5.16 (月)	県小中学校長会総会	日本特殊陶業市民会館
4. 5.18 (水)	三河教育研究会総会	蒲郡市民会館
4. 5.18 (水) 5.19 (木)	全日本中学校長会総会	東京都 (理事会5/17)
4. 5.20 (金)	県へき地教育研究協議会総会	豊根村立豊根小学校 豊根中学校
4. 5.27 (金)	全国連合小学校長会総会	東京都 (理事会5/26)
4. 7.07 (水) 7.08 (木)	東海北陸中学校長会 研究協議会三重大会	三重県津市
4. 10.13 (木) 10.14 (金)	全国連合小学校長会 研究協議会島根大会	島根県松江市 (理事会10/12)
4. 10.20 (木) 10.21 (金)	全日本中学校長会 研究協議会北海道大会	北海道札幌市 (理事会10/19)
4. 10.27 (木) 10.28 (金)	東海北陸地区連合小学校長会 教育研究静岡大会	静岡県静岡市
4. 9.29 (木) 9.30 (金)	全国へき地教育研究大会 山形大会	山形県
4. 11.17 (木) 11.18 (金)	東海北陸へき地教育研究大会 静岡大会	静岡県
未 定	日本教育会総会	12月初旬に決定の予定
未 定	日本教育会全国教育大会	12月初旬に決定の予定

※前回からの変更点にはアンダーライン

令和4年度 年間行事予定 ※前回からの変更点にはアンダーライン

三河小中学校長会

令和3年11月9日現在

日	曜	4月	曜	5月	曜	6月	曜	7月
1	金		日		水	三河教頭会総会 県理事会②AM	金	
2	土		月		木		土	
3	日		火	憲法記念日	金	三河P連総会	日	
4	月		水	みどりの日	土		月	
5	火	県会計理事会・会計監査会①PM (小学校入学式)	木	こどもの日	日		火	
6	水	(中学校入学式)	金		月		水	県理事会・委員長部長会③AM 県常任・評議員会②PM
7	木		土		火	役員・理事・常任委員会 (オンライン会議)	木	東陸中三重大会
8	金	県庶務理事会①AM 県地代会①県代表者会①PM	日		水	県教頭会総会	金	↓
9	土		月		木		土	
10	日		火	三河校長会総会 (竜美丘会館)	金	県会計理事会②AM 県地代会・県代表者会②PM	日	
11	月		水	尾張校長会総会	土		月	
12	火	仮役員・理事・都市代表者会 評議員会、専門委員会(豊橋)	木		日		火	
13	水	県理事会①AM 県委員会部会PM	金		月		水	
14	木		土		火		木	
15	金		日		水	県P連総会	金	
16	土		月	県校長会総会	木		土	
17	日		火		金		日	
18	月		水	全日中理事会 三河教育研究会総会 全日中総会	土		月	海の日
19	火	(全国学力学習状況調査)	木	↓	日		火	
20	水	県庶務理事会②AM 県常任評議員会①PM	金	県へき地研総会(北設楽・豊根小中)	月		水	〈1学期終業式?〉
21	木		土		火		木	
22	金	仮役員会(竜美丘会館)	日		水		金	
23	土		月		木		土	
24	日		火		金		日	
25	月		水		土		月	
26	火		木	全連小理事会 県調査研究打合せAM 全連小総会	日		火	
27	水		金		月		水	
28	木		土		火		木	
29	金	昭和の日	日		水		金	
30	土		月		木		土	
31	日		火		金		日	

日	曜	8月	曜	9月	曜	10月	曜	11月
1	月		木	〈2学期始業式?〉	土		火	
2	火		金	県理事会④PM	日		水	
3	水		土		月		木	文化の日
4	木		日		火		金	附属特別支援学校研究会
5	金	尾張知事懇談会候補日	月		水	県教育予算学習会PM	土	
6	土		火		木		日	
7	日		水		金		月	
8	月	役員理事評議員会（岡崎） 三河教育懇談会 候補日①	木		土		火	役員・理事・都市代表者会 （蒲郡荘）
9	火		金		日		水	県退職手当説明会PM
10	水		土		月	スポーツの日	木	
11	木	山の日	日		火	役員・理事・都市代表者会 （蒲郡荘）	金	
12	金		月		水	全連小理事会	土	
13	土		火		木	全連小島根大会	日	
14	日		水		金	↓	月	
15	月		木		土		火	
16	火		金		日		水	
17	水		土		月		木	東海北陸へき研静岡大会 附属小学校研究会①
18	木		日		火		金	↓ 附属小学校研究会②
19	金		月	敬老の日	水	全日中理事会	土	
20	土		火		木	全日中北海道大会	日	
21	日		水		金	↓	月	
22	月		木		土		火	
23	火		金	秋分の日	日		水	勤労感謝の日
24	水		土		月		木	
25	木		日		火		金	
26	金	役員理事評議員会（岡崎） 三河教育懇談会 候補日②	月		水		土	
27	土		火	附属中学校研究会	木	東陸小静岡大会	日	
28	日		水		金	↓	月	
29	月		木		土		火	
30	火		金	県理事会⑤AM 県臨時代表者会PM	日		水	県理事会⑥AM
31	水				月			

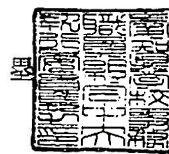
日	曜	1 2 月	曜	1 月	曜	2 月	曜	3 月
1	木		日	元 日	水	県会計理事会③AM 県理事会、委員長・部長会⑧PM	水	
2	金	県地代会・県代表者会③PM	月		木		木	
3	土		火		金		金	
4	日		水	仕事始め	土		土	
5	月		木	県庶務理事会③AM 県理事会⑦PM	日		日	
6	火		金	〈3学期始業式?〉	月		月	
7	水		土		火		火	〈中学校卒業式〉
8	木		日		水	県庶務会計理事会④AM 県地代会・県代表者会④PM	水	
9	金		月	成人の日	木		木	
10	土		火	役員・理事・常任委員会 (オンライン会議)	金		金	県理事会⑨AM 県常任・評議員会③PM
11	日		水	県臨時地域代表者会PM	土	建国記念の日	土	
12	月		木		日		日	
13	火		金		月		月	
14	水		土		火		火	
15	木		日		水		水	
16	金		月		木		木	
17	土		火		金	全日中事務担当者会	金	
18	日		水		土		土	
19	月		木		日		日	
20	火		金	全日中理事会	月		月	〈小学校卒業式〉
21	水		土		火		火	春分の日
22	木		日		水		水	
23	金	〈2学期終業式?〉	月		木	天皇誕生日	木	
24	土		火		金		金	〈修了式〉
25	日		水		土		土	
26	月		木		日		日	
27	火		金		月		月	
28	水	仕事納め	土		火	役員・理事・常任委員会 (岡崎NGH)	火	
29	木		日				水	
30	金		月				木	
31	土		火	役員・理事・評議員会 (岡崎NGH)			金	

三河小中学校長会
会長 柵木 智幸 様



2021年7月29日

愛知県学校事務職員組合
中央執行委員長 白澤 墨



要 請 書

貴職におかれましては、日ごろより私たち学校事務職員の処遇改善等について格別のご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

私たちは、憲法と教育基本法の理念に基づき、教育条件の整備を通して、子どもたちにゆきとどいた教育を保障する取り組みを進めています。地方分権、教育改革が進められている昨今の教育諸情勢の中で、地域の実情に応じた多様な教育を展開することが時代の要請とされており、ゆとりある豊かな教育の実現を図り課題を解決していくためには、学校事務を含めた学校の自主性と自律性の確立が必要となります。

学校事務に関わる動きとして、2017年4月、学校教育法の改正により、学校事務職員の職務規定が、「事務に従事する」から「事務をつかさどる」に見直されました。また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、共同実施の仕組みが共同学校事務室として法律で規定化されました。

これらを受け、県教育委員会は、2017年12月に「小中事務共同学校事務室を設置するための関係要綱等の制定モデル」を示し、共同学校事務室設置の推進を図っています。また、2018年1月には「学校事務職員の校務運営への参画について」を通知しました。

さらに、2019年3月、文部科学省は「学校における働き方改革に関する取組の徹底について」を通知し、学校における働き方改革の具体化を示しました。2020年7月には「事務職員の標準的な職務の明確化に係る学校管理規則参考例等の送付について」を通知し、教職員の業務の明確化・適正化を進める中で、学校事務職員の積極的な学校運営への参画を求めています。

私たちは、これらの情勢を受け、継続した実践を積み重ねることにより学校事務機能の強化・充実を目指しています。

学校と学校事務職員を取り巻く環境はめまぐるしく変化していますが、子どもたちのより良い教育諸条件を整備、拡充していくという、私たちの役割や責任が変化するものではありません。学校事務職員が各学校や地域で十分に力を発揮し、その役割や責任を果たしていくためには、「学校事務職員の組織化と事務の共同処理」の充実など、新たな学校事務職員制度の構築を図ることが、これまで以上に必要です。

こうした背景から私たちは、学校運営の一層の充実を目指し諸問題の解決を求めています。特に、下記事項については早急に解決したいと存じますので、貴職のご理解、ご支援を賜りますとともに、関係機関への働きかけをお願い申し上げます。

記

- 1 学校事務職員の賃金水準を改善するため、ご尽力いただきたい。
特に、組合員の総括事務長および事務長・主査昇任者の拡大に向けて、ご尽力いただきたい。
- 2 学校事務職員の定数については、全校配置を前提に、本県独自の定数配置基準を策定し、現在の複数配置基準が改善されるようご尽力いただきたい。当面、実際の学級数をもとにした配置となるよう働きかけていただきたい。
また、学校事務機能の強化・充実、教員の事務負担軽減のために、学校事務職員の定数加配の活用、市町村費職員の配置の拡充について働きかけていただきたい。
- 3 「学校事務職員の組織化と事務の共同処理」の充実や研修制度など、新たな学校事務職員制度の構築に向けて、引き続き働きかけていただきたい。
- 4 教育の全国水準維持や機会均等を確保するため、義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに同制度の充実に向けて、引き続きご尽力いただきたい。

- 5 教職員評価制度の実施にあたっては、学校事務職員の育成と能力開発につながるものとなるようご配慮いただきたい。
- 6 療養休暇等における代替制度の活用については、安心して療養休暇等が取得できるよう配置基準の緩和や代替職員の確保など、条件整備についてご尽力いただきたい。
- 7 時間外勤務の縮減については、学校における働き方改革の趣旨に沿った条件整備を行うとともに、勤務時間の管理にご配慮いただきたい。
また、時間外勤務手当については、実績に見合う予算の確保に向けて働きかけていただきたい。
- 8 仕事と家庭生活の両立支援のさらなる充実に向けて、諸条件の整備にご尽力いただきたい。
また、国が示している「新しい生活様式」を実践するための条件整備に向けて働きかけていただきたい。
- 9 人事異動については、本人の希望を聴取し、その意思が尊重されるようご配慮いただきたい。
- 10 再任用学校事務職員等の賃金水準を改善するため、ご尽力いただきたい。
また、学校事務職員の再任用にあたっては、希望者全員の雇用を確保し、定数外、又は定数を拡大した上で配置するよう、働きかけていただきたい。
- 11 学校事務職員の職務内容等や執務環境、諸条件の整備にご尽力いただきたい。
- (1) 市町村教育委員会の学校管理規則等において、学校教育法改正の趣旨を踏まえ、職務規定の変更や職務内容の規定化がされるよう、働きかけていただきたい。
併せて、学校事務が適正かつ円滑に履行できるよう、事務部の充実にご配慮いただきたい。
- (2) 学校事務職員が、学校運営により主体的・積極的に参画できるよう、企画委員会や運営委員会への参加にご配慮いただきたい。
- (3) 学校事務職員の役割と責任を明確にするため、「職の指定」がなされるよう働きかけていただきたい。
- (4) 学校運営の円滑な推進のため、事務室の設置について、ご尽力いただきたい。
特に、個人情報の保護、事務処理スペースの確保、VDT作業対策など、必要となる執務環境の整備についてご尽力いただきたい。
- 12 人事・給与等の事務処理にあたって、適正かつ円滑な事務が行えるよう事務改善に向けご尽力いただきたい。
また、市町村における事務についても同様に事務改善が図られるようご尽力いただきたい。
- (1) 県費に関わる事務手続きについて、ネットワークシステムを活用するなど、適正かつ効率的に行えるよう働きかけていただきたい。
- (2) 旅費、教員特殊業務手当などの学校運営に必要な予算の確保についてご尽力いただきたい。
- (3) 人事任用に関する事務処理について、任用手続き等が簡素化されるよう働きかけていただきたい。
特に、会計年度任用職員制度の導入に伴い煩雑化している事務手続きが簡素化されるよう働きかけていただきたい。
- (4) 市町村が行う財務会計、学校給食費・学校徴収金などの経理事務、ならびに就学援助事務等が簡素化されるよう、働きかけていただきたい。

令和3年11月9日

三河小中学校長会
各専門委員会委員長 様
学校力向上特別委員会委員長 様

三河小中学校長会長
柵木 智幸

令和4年度 三河教育会館会議室の使用について(依頼)

向寒の候、貴台におかれしては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、見出しの件について、三河教育会館事務局に対しまして、三河小中学校長会の専門委員会、特別委員会での使用をお願いしたいと考えております。

つきましては、三河教育会館会議室の使用希望のある委員会は、別添のFAX送信票で御回答ください。本会の庶務がまとめて三河教育会館事務局に希望を伝え、調整させていただきます。

記

1 依頼内容

令和4年度三河教育会館会議室 利用希望日について

2 回答方法

別紙FAX送信票

3 回答期限

令和3年12月3日(金)

4 その他

＜三河教育会館利用上の注意点＞

- ・利用時間は、原則9：00～17：00とする。
- ・火曜日・水曜日・金曜日の午前・午後が基本とする。
- ・午後については、6月以降は、編集委員会等が入る。10月中旬から11月末までは、特に編集委員会が集中するので、空いていない場合が多い。
- ・午前中ならば年間を通して空いている場合が多い。
- ・利用人数は、最大48名である。
- ・使用する会議室は、愛知教育文化振興会が指定する。
- ・使用する会議室の会場準備、原状復帰、湯茶等の準備は利用団体が行う。
- ・駐車場の利用は愛知教育文化振興会の業務に係る会合を優先する。
- ・民間駐車場を利用した場合の費用は、利用団体が払う。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況によっては、使用を断る場合がある。

担 当 田原市立田原中部小学校 彦坂登一郎
電 話 0531-22-1245
FAX 0531-22-1246
電子メール hikosaka-touichirou@tahara.ed.jp

F A X 連 絡 票

田原市立田原中部小学校

FAX: 0531-22-1246

彦坂 登一郎 宛

令和4年度 三河教育会館会議室 利用希望日の報告

締切 12月3日(金)

委員会	報告者氏名	
	所属	学校

下記のとおり、三河教育会館の利用を希望します。

記

例	6 月	上旬	・ 中旬	・ 下旬	利用人数	24名
第1希望日時	6 月	3 日 (水)	13 時	00 分	～	16 時 00 分
第2希望日時	6 月	5 日 (金)	9 時	00 分	～	12 時 00 分

①	月	上旬	・ 中旬	・ 下旬	利用人数	名
---	---	----	------	------	------	---

第1希望日時	月	日 ()	時	分	～	時	分
--------	---	-------	---	---	---	---	---

第2希望日時	月	日 ()	時	分	～	時	分
--------	---	-------	---	---	---	---	---

②	月	上旬	・ 中旬	・ 下旬	利用人数	名
---	---	----	------	------	------	---

第1希望日時	月	日 ()	時	分	～	時	分
--------	---	-------	---	---	---	---	---

第2希望日時	月	日 ()	時	分	～	時	分
--------	---	-------	---	---	---	---	---

③	月	上旬	・ 中旬	・ 下旬	利用人数	名
---	---	----	------	------	------	---

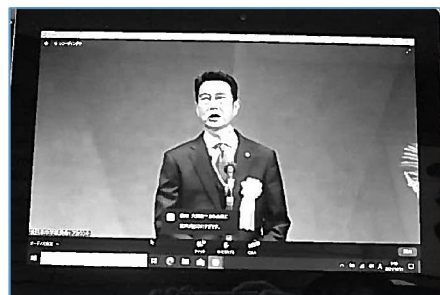
第1希望日時	月	日 ()	時	分	～	時	分
--------	---	-------	---	---	---	---	---

第2希望日時	月	日 ()	時	分	～	時	分
--------	---	-------	---	---	---	---	---

第72回 全日本中学校長会研究協議会 静岡大会 報告

豊川市立御津中学校 立川 恵理

- 1 大会主題 新たな時代を切り拓き、
よりよい社会を創り出していく日本人を育てる中学校教育
- 2 期 日 令和3年10月20日(水)、21日(木)、22日(金)
- 3 会 場 浜松市 オンライン開催
- 4 参加者 三河地区21名
尾張地区24名
計 45名



5 内 容

<1日目>

◆常任理事・理事・運営委員会

<2日目>

(1) 開会式

◆大会会長挨拶 全日本中学校長会長 宮澤 一則 氏

◆大会実行委員長挨拶 静岡県中学校長会長 宮崎 正 氏

◆祝辞

・文部科学大臣代理 大臣官房学習基盤審議官 茂里 毅 氏

・静岡県副知事 出野 勉 氏

・浜松市長 鈴木 康友 氏

・静岡県教育委員会教育長 木苗 直秀 氏

(2) 文部科学省説明 大臣官房学習基盤審議官 茂里 毅 氏

「当面する初等中等教育上の諸課題」

- 新型コロナウイルス感染症対策や学校における働き方改革、GIGAスクール構想の推進、いじめ・不登校・自殺・児童虐待対応、教師の資質能力の向上など、学校を取り巻く今日的な課題について取り上げ、それらに関わる文部科学省の事業や今後の見通し・方向性について説明された。

(3) 全体協議会

◆第1研究協議題（全日中提案）

「学校からの教育改革 ～『次世代の学校教育の実現』」

提案者 全日本中学校長会 総務部長 平井 邦明

- 「全日中新教育ビジョン」で示された「10の提言」の実現の柱は「カリキュラム・マネジメント」にあるとし、学習指導要領における「カリキュラム・マネジメント」の3つの側面のうち、「教育課程の実施状況を評価して、その改善を図っていくこと」に焦点をあてて、以下のような提案をされた。

- ・「令和の日本型学校教育」を構築し、「個別最適な学びと協働的な学び」を実現するためにも、「学校や教師が行うべき業務・役割・指導の範囲・内容・量の精選・縮減・重点化」に対して着実に取り組む必要がある。
- ・教育課程の改善に向けた重要な取組の一つが「学校評価」である。「学校評価」が「学校改善に繋がる」には、教職員の思いや願いを校長が確実に受け止めた上で「具体的な改善の方向性」を示し、教職員が「学校を変えることができる」という実感を得ることができるかどうかにかかっている。

◆第2研究協議題（地区提案）

「震災の教訓を伝える防災学習 ～地域防災力の向上を目指して～」

提案者 宮城県気仙沼市立鹿折中学校長 菅原 定志

- 校長として勤務した気仙沼市立階上中学校と鹿折中学校で実践されたことをもとに、防災学習について提案された。
 - ・震災後、積極的に防災学習が取り入れられたが、年数が経過しても、学習内容は大きく変化することなく、前年度踏襲の学校が多くなっていった。
 - ・持続発展可能な防災学習を構築し、地域防災力の向上を目指すために、学校における防災学習の内容の見直しと地域を巻き込んだ防災学習の展開が必要であると考えた。
 - ・教職員が学ぶ場や方法の構築・防災学習で身につけさせたい力の明確化、地域との連携、探究的な防災学習、伝承する活動などを通して、教職員や生徒たちが震災や防災について学ぶだけでなく、地域防災力の向上にもつながっていった。

(4) 分科会

- 8分科会で各研究題に基づく熱心な研究協議が行われた。

分科会	研 究 題	地 区
1	「カリキュラム・マネジメント」の推進	北海道
2	「主体的・対話的で深い学び」の実現	近畿
3	よりよく生きようとする意思や能力を育む道徳教育の充実	九州
4	健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現するための教育の充実	四国
5	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育と進路指導の充実	東海北陸
6	自他を敬愛し他者と協力しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成する生徒指導の充実	東北
7	多様化した学校教育課題に対応できる教員の育成	関東甲信越
8	学校と地域の連携・協働による「チーム学校」の実現	中国

< 3日目 >

(1) アトラクション

◆吹奏楽演奏

- 浜松市中学校選抜吹奏楽団

(2) 全体会

◆大会宣言・決議

- 大会実行委員長が大会宣言・決議を読み上げ、右に示した宣言文が承認された。

(3) 記念講演

◆演題

「学習、成長 ―未来の脳を考える」
 講師 東京大学 教授 池谷 裕二 氏
 ○ 脳の最先端の知見をもとに「できる人はやる気もなくシステムに従う」「学習はツライほうが深く定着しやすい」など、興味深いお話をいただいた。

(4) 閉会式

◆挨拶

- ・ 大会長
- ・ 大会実行委員長
- ・ 次期開催地代表（北海道）

第72回全日本中学校長会研究協議会静岡大会

宣 言

今日、我が国の教育は人格の完成を目指し、伝統と文化を尊重するとともに、豊かな人間関係で満たされる社会を創るたくましい日本人を育成する使命を担っている。全日本中学校長会は、新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならないという認識に立ちつつ、新しい時代の中学校教育の課題に対応し、教育基本法をはじめとする教育関連法規、学習指導要領の趣旨を踏まえ、「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を形成していく日本人を育てる中学校教育」を目指し、国民の負託に応えなければならない。

私たちは、人間尊重の精神に徹し、自らの責任において全日中新教育ビジョンに基づく学校からの教育改革の推進と当面する諸課題の解決に努め、新たな中学校教育を創造していく決意である。

ここに、第72回全日本中学校長会研究協議会静岡大会に当たり、「未来創造！共に歩みだそう 夢のくから」のスローガンのもと、次の事項を決議し、その実現を期する。

決 議

- 一、 人間尊重の精神に徹し、「社会を生き抜く力」とともに「よりよい社会を形成する力」を育む教育に努める。
- 一、 全日中新教育ビジョンを踏まえ、学習指導要領に基づく特色ある教育課程を編成・実施・評価・改善し、確かな学力の定着、豊かな心と健やかな身体の育成に努める。
- 一、 現在の学校教育課題に即した研修を充実し、教職員の資質・能力の向上と使命感の高揚に努める。
- 一、 創意ある教育活動を展開し、家庭・地域社会の信頼に応える教育を実現するため、人的配置をはじめ確固とした教育条件の整備・充実を期する。
- 一、 「教科書無償貸与制度」「義務教育費国庫負担制度」及び「人材確保法」の堅持を要請し、教育水準の維持向上を期する。
- 一、 学校が担うべき業務の明確化・適正化をはじめ、学校の組織運営体制の見直し、教職員の意識改革等により働き方改革を推進し、新しい時代に求められる学校づくりに向けてリーダーシップを発揮する。
- 一、 東日本大震災をはじめ災害等により被災した地域の復興を期し、教育活動の充実に向けた支援と全国各地・各学校における防災教育の充実を図る。

令和3年10月21日

第72回全日本中学校長会研究協議会静岡大会